星山麻木先生講演会報告

この子は育てにくいと思っても大丈夫

ー生まれてきてくれてありがとう　子どもに伝えたいあなたのためにー

去る 5 月 18 日（土）、星山麻木先生講演会**『この子は育てにくいと思っても大丈夫〜生まれてきてくれてありがとう 子どもに伝えたいあなたのために〜』**を開催しました。
「なかだの森」に到着するなり、両手を広げ胸いっぱいに森の空気を吸い込み、こぼれる笑顔を見せてくださった星山先生。子どもたちがあそぶあそび場の片隅に設けた会場には、なんと 150 人以上の人が続々と集まり、先生の言葉を一言も聞き逃すまいという真剣なまなざしに溢れていました。今回の通信では、先生の珠玉の言葉と講演会を聞いた皆さんの感想を少しだけお伝えします！

講演会を聴いて 私が感じたこと ー参加した方の感想ー

普段話しているときも、何かするときも明確な基準がる話ではないのに、比べてしまっていると感じました。
「隠しているだけで同じ人はいない。」という言葉がとても印象的でした。
全く同じ人はいなくて、基準も自分が何となく決めつけていたり、社会的に決められただけにも関わらず「やりづらいな」「自分は変わっているのかな」と悩みを悪しながら過ごしている人が多くいるかもしれないと思うと、なんて生きづらいのだろうと思いました。

考えが 180 度変わった。
今まで思い悩んだことがぱーっと晴れた言葉が多くて励まされた。
もっと早く星山先生に会っていればと思うと子どもに支援を受けさせていたかもと思うと、これで良かったのかとも思ったり。
（あべちゃん／ 13 才母）

不安で困っていた理由が分かって楽になった。**自分がそう育てられてきたように「皆と同じ」を子どもに求めていたから、少し違うと不安になり、困り怒っていたと気付いた。**
根本が分かったことでこれからの子育てが変わっていきそうだ。（Y.Y さん／ 6.3 才母）

「違うことは強み」口で言うのは簡単だけど、実践するには腹の底から理解しなくては…。日々意識すること、みんなが思うこと、一歩一歩が世の中を変えていけると思う。（まめちゃん・12,9,5 才母）

子育てでモヤモヤしてたところがストンと落ちて、心がとても軽くなりました。
「虹」のお話と「普通とは…」のところがたくさんたくさん考えさせられ、**自分って何者？って考えたら、子どもに対する言動は自分に言ってたんだなと気付きました。**こからも反復して学び、子どもに成長させてもらお！って思えました。素敵なお話をありがとうございました。（M.T さん／ 12,8 才母）

あたたかな人とのつながり、違いを強みとして生きていく。言葉を行動に移していくのには、学びと行動力も必要になってくるなと感じました。
私は学校の先生ではない立場なので、子どもたちへの合理的配慮やその子の強みを生かして居場所を創ってあげることが比較的行いやすい環境にあると思います。学校以外にも、**その子がありのままで居られる地域社会づくりをしていきたいな**と改めて思える 2 時間でした。（恵里さん）

自分がダメになる前に SOS を出す、人の手を借りる大切さ。人の手を借りればよかったなと思いました。
今回、先生のお話を聞けて良かったです。感動しました。心のつかえがとれた気がします。

生きにくさを母親である私自身が感じて今まで生きてきましたが、**「違うことは強さ」**という先生の言葉を聞いて、生まれつきの特長への捉え方を変えていきたい。**子どもの不安を押し付けることがないようにしたい**と思いました。

自分の子どもと自分が幸せにヒントがたくさん詰まっていました。
私も、私の子どもも、少数派と感じることがありますが、すばらしいことと認めることが出来てないな〜と気付かされる講演でした。**たくさん、たくさん、自分も子どももほめてあげたいと思います。**（みどりさん／ 7.9 才母）

たくさんの論文や研究も読むけど
一番教えてくれるのは子どもだった。

講演会で、私がしゃべっているというよりは
出会った子どもたちが私に譲ってくれた宝物。
それを皆さんに伝えているのだと思う。

私たちは、もう本当に本当に
ガンバレガンバレ国民なんですね。

子どもは大丈夫。問題は私たち大人なんです。
すごいことを頑張るのではなく
ほんのちょっと頑張る、ということが日々たくさんある。
私たちは自分では何もしてないと思ってるけど
ここにいるだけで十分なんですね
でも、**この時代、いろいろ求められすぎて**
一生懸命すぎて、頑張らないといけないといわれる。
大事なことを置いてきてしまったんじゃないかなと最近思います

「普通」

独りぼっちにならない。
一人でも二人でも、
自分を分かってくれる
仲間を作ること。
これがコミュニティ。
人に支えられて、
人の間で生きるのが人間。
私たちはもともと弱い。

違うことは強いこと。
特別支援教育は才能教育といわれる。
良いところ、ステキな所を
見つけ、応援し、励まし、待つ。
それで命が輝く。
海外では、“Gifted” という。
色んな違い、才能、ステキな所がある。

私たちはみんな、実は少数派。
多数派ばかりだと、自分の中の少数派な部分をダメなこと、悪いこと、
隠さなきゃいけないこと、という教育を受けてきている。
家族関係、親の仲の良さ、脳の機能、学校のこと…
全てのことが全部平均で、全部多数派に属している人なんていない。
現在そうだとしても、しょせん、**最初は少数派「赤ちゃん」として**
特別な支援が必要な存在だった。
そして、年老いて、やがて特別な支援が必要な存在になっていく。
私たちの人生は、そうやってゆっくり循環している。

私たちはみんな虹色。
ブレンド具合が異なるだけ。
人間をよく、白と黒に分けますね。
グレーはどっちつかず。
ものすごく嫌な言葉。
わたしね、大きな虹を中央線内で見たの。
そうしたら、車両の中で
「うわぁ、すごく大きな虹。みなさん、すごく
大きな虹が見えますよ！」って車両中に言う人がいたの。
ああ、みんな、虹は好きなんだなと思った。
私たちはみんな虹色。ブレンド具合が異なるだけ。

自分の中の困っていること、
人と違うことが恥ずかしいとか
ダメなことではなく
違いはすごいことで強みになる。

「もともと同じ」ではなく「もともと違う」ではなく、違うことは不安、違うことは強み。

誰かを幸せにしようと思ったら、
自分を分からないといけないんだなぁ。
30 年間やって分かったこと。
特別支援って、全然特別ではない。
特別支援って、人間理解、
自分の理解ということだと思った。

講演会を聞けなかった！ 星山先生のお話をもっと聞きたい！ という皆さんへ…

星山先生は、どこかへ行かなくても
先生のお話を聞けるようにとの
想いから、書籍だけでなく
Line や YouTube、Twitter で
最新情報や動画の配信をされています。

YouTube の動画では
虹色それぞれの特性についての
お話もあります。
皆さん、ぜひご覧くださいね！

『この子は育てにくい、と思っても大丈夫』／河出書房

YouTube『星と虹色のこどもたち』
Twitter　@hoshiyama_lab
Line 登録は
『一般社団法人　星と虹色なこどもたち』
より友だち追加できます。

午後にもご予定があった星山先生ですが、ぎりぎりまで皆さんの質疑応答に答えてくださいました。
「子育ては一人でしないのよ。人の中でたくさん助けてもらいながらがいいわね。あなたを傷つける人のそばにいなくていいのよ。豊かな包容力のある人のそばにいるのがいいわよ。ここは良いわよね。
ここに来れば大丈夫なんじゃない（笑）」
とおっしゃってくださった星山先生。
これからも、一人ひとりがありのままに過ごせる場づくりをしていきたいと改めて思いました。